

# 報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 28 年 5 月 19 日 (木) 15:30~16:30 懇談会

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

## 1. 挨拶

— 須藤 健一 (館長) —

## 2. ニュースリリース

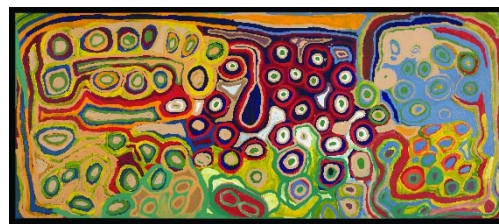
●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 池谷 和信 (議長) —

## 3. ワンロード：現代アボリジニ・アートの世界

[詳しくはこちら](#)

本展では、オーストラリア西部の砂漠を縦断する 1850 キロメートルの一本道キャンピング牛追いルートを題材としたアボリジニ・アートを取り上げます。100 年以上前に畜牛を移動させるためにつくられたこの道は、アボリジニの人々がはじめて西洋人入植者と出会う接点でもありました。彼らは、そうした体験をどのように表現しているのか、そして絵画とアボリジニの文化とはどのような関係にあるのか、オーストラリアにおける先住民社会の過去から現在までの変化を視野に入れつつ、絵画に映像資料を交えて紹介します。オーストラリアで 22 万人を動員した本展は、当館を皮切りに、日本全国を巡回します。



《クンクン》Kunkun 2008 年  
ノラ・ナンガバ、ノラ・ウオムビ、フガイ・ワイロウ  
タ、クムバヤ・ギルガバ(マトゥミリイ・アーティスト)  
オーストラリア国立博物館蔵

会 期：6 月 9 日 (木) ~ 7 月 19 日 (火)  
場 所：国立民族学博物館 企画展示場

— 丹羽 典生 (研究戦略センター 准教授) —

## 4. みんなの映画会「映画で知る中央・北アジア」

[詳しくはこちら](#)

中央・北アジアの新展示では、シベリアからモンゴルを経て中央アジアまで、多様性に富んだ暮らし、一生を彩る儀礼、シャマニズムやイスラーム、職人の技などを紹介します。新しい展示を広く知っていただくため、展示のテーマに関連した映画上映会を「映画で知る中央・北アジア」と題し、研究者の解説つきで開催いたします。多彩な中央・北アジアの歴史や文化を、映像を通してご覧ください。



©Aitysh Film

第 1 回 6 月 12 日 (日) 「デルス・ウザーラ」  
第 2 回 6 月 25 日 (土) 「モンゴル」  
第 3 回 7 月 9 日 (土) 「山麗(さんれい)の女王 クルマンジャン」  
第 4 回 7 月 18 日 (月・祝) 「くるみの木」(日本初公開)

場 所：国立民族学博物館 講堂  
時 間：13:30 ~ 16:30 (13:00 開場)  
定 員：450 名 (先着順)

・事前申込は不要です。  
・入場整理券を当日 11:00 から本館 2 階 観覧券売場にて配布します。  
要展示観覧券 (一般 420 円)  
主 催：国立民族学博物館

— 藤本 透子 (民族文化研究部 助教) —

## 5. 音楽の祭日 2016 in みんな

[詳しくはこちら](#)

国籍、年齢、性別を超えて、音楽を愛するすべての人が無料で参加できる市民参加型の一大音楽イベントです。2003年以来、今年で通算14回目の開催となります。プロアマ、ジャンルを問わず、日本を含む世界の楽器を使った音楽パフォーマンスをする方たちが出演します。みんなで世界の楽器を持ち寄って音楽で友好を深めます。



日時：6月19日（日）10:25～16:35（開場10:00）

場所：国立民族学博物館 特別展示館1階、本館エントランスホール

— 出口 正之（民族文化研究部 教授） —

## 6. 研究紹介

[詳しくはこちら](#)

### 「民族文化資源とポリティクス——中国南部地域の分析から」

（塚田誠之 編／風響社）

— 塚田 誠之（民族社会研究部 教授） —

### 「〈紛争〉の比較民族誌——グローバル化におけるオセアニアの暴力・民族対立・政治的混乱」

（丹羽典生 著／春風社）

— 丹羽 典生（研究戦略センター 准教授） —

### 「景観人類学——身体・政治・マテリアリティ」

（河合洋尚 編／時潮社）

— 河合 洋尚（研究戦略センター 助教） —

※その他の配布資料

外来研究員受入一覧（資料 6）



国立民族学博物館

懇談会についてのお問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話：06-6878-8560（直通） FAX:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp